

「やさしい日本語」ガイド

春日井市 市民活動支援センター

やさしい日本語について

「やさしい日本語」とは何か

「やさしい日本語」とは、普段使われている言葉を外国人にもわかるように書き換えた、簡単な日本語のことです。1995年1月17日に起きた阪神・淡路大震災では、たくさんの方が大変な被害を受けました。その中には、日本語を十分に理解できない外国人もたくさんいました。

こんな大変なときに、情報が得られなくて困っている。自分の国の言葉で相談できる人もいない。

どうしたらいいんだろう…。そんな人たちが、災害発生時にできるだけ早く正しい情報を得られ、適切な行動をとれるように考え出されたのが、「やさしい日本語」です。今では、災害時だけでなく、日常生活においても役立っています。

「やさしい日本語」とはどんな日本語か

「やさしい日本語」とは、伝える相手に「わかりやすい」日本語です。

敬語の使用を控えたり、漢語やカタカナ語を和語に置き換えたり、専門用語を日常的な言葉に言い換えたりすることで、外国人が理解しやすくなります。

※漢語とは

主に昔、中国から伝わった言葉で、漢字の音読みをするもの(ex.面会、上昇、終了、鮮明)。

※カタカナ語とは

主に漢字を使わない国から入ってきた言葉。一部、“和製英語”など日本で作られた言葉も含む(ex.パン、トイレ、ホットケーキ、マンション)。

※和語とは

日本固有の言葉で、漢字の訓読みをするもの(ex.会う、上がる、終わる、鮮やか)。

「やさしい日本語」はどんなときに使うか

①災害などの緊急時

緊急時には、いろいろな国の言葉に翻訳したり、通訳ができる人を探したりする時間がありません。

そんなとき、「やさしい日本語」を使えば、早く情報伝達ができます。

②日常生活

例えば、街中で困っている外国人を見かけた時、「どうしましたか」と日本語で声をかけてあげましょう。

「やさしい日本語」を使えば、簡単なことは意外と通じるものです。

なぜ日本語なのか、なぜ「やさしい日本語」が便利なのか

①外国人に分かりやすい

春日井市の外国人市民は増加傾向にあり、多国籍化しています。外国人に対して、必要な情報を全ての母語に翻訳して伝えることは不可能です。簡単な日本語であれば理解できるという人は多いので、「やさしい日本語」が最も効果的です。

②日本人にも分かりやすい、使いやすい

ポイントを押さえれば、だれでも使うことができます。

また、子ども、高齢者、障がいのある人など様々な人に配慮したコミュニケーション手段の一つです。



どっちが「わかりやすい?」

A

1. お越してください
2. 土足厳禁
3. キャンセルする
4. 叫ぶ

B

1. 来て ください
2. くつを めいでください
3. やめる
4. 大きい 声で 言う

多くの方が、Bの方が「わかりやすい」と感じたのではないのでしょうか。
やさしい日本語を使うと、日本人にとっても分かりやすくなりますね。

1

メッセージを伝えたい相手を絞り、伝えたい情報の中から必要なものを取捨選択する

- 1 伝えたい相手を絞り、他の読み手に向けた情報を削除する
- 2 一言一句を元の文に対応させて作るのではなく、伝えるべきことの中で優先順位を考え、受け手にとって必要な情報に絞る

2

文章レベル

- 1 できるだけ優先順位の低い情報をカットする
- 2 伝えたいことを文章の最初を書く
- 3 必要に応じて補足情報を加える

3

文レベル

- 1 一文中で一つの情報提供に留める
- 2 一文を短くする
- 3 主語と述語を明確にする
- 4 あいまいな表現を使わない

(例) 「たぶん、〇〇であり、◇◇なので、△△^{おも}と思われます。」

→ 「〇〇です。◇◇です。だから、△△です。」

4

単語レベル

1 難しい言葉を易しい言葉に置き換える

① 漢語・カタカナ語 → 和語

(例) 読書 → 本^{ほん}を^よ読む

② 専門用語 → 日常語

(例) 授業参観 → 授業^{じゅぎょう}を^み見る

③ 敬語・俗語・若者言葉・慣用句 → 普通語

(例) ご利用ください → 使^{つか}ってください

④ 方言 → 標準語

(例) 鍵をかう → 鍵^{かぎ}をかける

⑤ 複数の意味を持つ言葉 → 1つの意味しか持たない言葉

(例) 回覧板を回す → 回覧板^{かいらんばん}を^{わた}す

好き嫌い → 好き^すな^た食^{もの}べ^きら^た物^{もの}、嫌^{きら}いな^た食^{もの}べ^きら^た物^{もの}

⑥ 抽象的な言葉 → 具体例を示す

(例) 本人確認ができるもの → 免許証^{めんきょしょう}や^{ぱす}ぽーと^と

お年寄り → おじいさん、おばあさん

⑦ 略語 → 元の言葉

(例) 車校 → 自動車^{じどうしゃ}が^がっ^こう^{こう}学校

2 その他気をつけること

① 時間や年月日の表記をわかりやすくする

時間は12時間表記とし、年月日は西暦でスラッシュを使わない

(例) 21時30分 → 午後^{ごご}9時^じ30分^{ごん}

2019/8/31、令和元年8月31日 → 2019^{ねん}年^{がつ}8月^{にち}31日

② 外来語は原語と意味や発音の異なるものが多いため、使うときは注意する バス、ガス、ガラス、テレビなど外来語以外での表現が難しいものは使用する

(例) ダイヤル → 英語とは発音がまったく異なる

ライフライン → 日本語では、電気・ガス・水道などの生活に必要な設備のことを意味するが、英語では「命綱」を意味する

デマ → ドイツ語の単語の省略で、日本人以外には伝わりにくい

③ 曖昧な表現・擬音語・擬態語はできるだけ使わない

(例) 曖昧な表現 「〇〇くらい」、「しばらく」など
擬音語 「めちゃめちゃ」、「ふらふら」など
擬態語 「ゴロゴロ」、「サツと」など

④ 混乱を招きやすいため、二重否定は使わない

(例) ^{とお}通れないことはない → ^{とお}通ることができます

⑤ 動詞を名詞化したものは、できるだけ動詞文にする

(例) 「揺れがあった」 → 「^ゆ揺れた」

- ⑥ 重要な言葉はそのまま使い、<>で言い替える
災害時によく使われる言葉や、生活する上で覚えておいたほうがよい言葉は
そのまま使う

(例) 「健康保険証」 → 健康保険証<病院で 使う カード>

「給付金」 → 給付金<国や 春日井市役所から もらえる お金>

「救急車」 → 救急車<病気や けがになった 人を 運ぶ 車>

5

体裁を整える

1 「分かち書き」にする

分かち書きとは、単語と単語の間等にスペースを空けて、読みやすくすることです。

(例) 今日は 天気が よい。

2 漢字には、すべてルビ(ふりがな)をふる

(例) 「市役所」、「市役所(しやくしよ)」

3 文末はなるべく統一する(「です」「ます」「してください」)

4 必要に応じて、写真やイラストを載せる

5 場所を示すときは地図を載せる

やさしい日本語への書き換え(言い換え)例

窓口

- 番号札をお取りください。順番にお呼びします。
→ この ^{ばんごう} 番号の紙(カード)を ^{かみ} 取って ^と ください。番号で ^{ばんごう} あなたを ^よ 呼びます。
- 本人確認ができるものがありますか？ → ^{ざいりゅう} 在留カード や ^{くるま} 車の免許証が ^{めんきょしょう} ありますか？
- 公共交通機関でお越してください。→ ^{でんしゃ} 電車 か ^{ばす} バスで ^き 来て ください。
- 無料の相談窓口があります。→ ^{そうだん} 相談する ^{ところ} が ^あ ります。お金 ^{かね} は ^い りません。

日常生活

- ここは通行止めです。→ ここは ^{とお} 通ることが ^{でき} ません。
- ごみはきちんと分別をして、決められた日に出してください。
→ ごみを ^わ 分ける ^き 決まりが ^あ ります。(分別表を見せて) ごみは ^き 決まった ^ひ 日に ^だ 出します。
- 落とした財布の特徴は？ → ^お 落とした ^{さいふ} 財布の ^{いろ} 色は ^{くろ} 黒ですか？ ^{しろ} 白ですか？
- 大雨警報が出ています。→ ^{あめ} 雨が ^た たくさん ^ふ 降ります。 ^き 気をつけて ください。

正しい「やさしい日本語」？

「やさしい日本語」には正解はありません。それは伝える相手によって「やさしい日本語」が変わるからです。

日本語能力や日本の文化習慣・地理・社会等についての知識が一人一人違うため、その人にとって必要な情報は何かを考えながら伝えることが大切です。会話をするときには、「ゆっくりと」「大きな声で」「はっきりと」身振り手振りを交えて話しましょう。

このほか、中国から来た人には「ひらがな」より「漢字」の方が伝わりやすいこともあります。

参考資料、ウェブサイト

1 参考資料

① 「やさしい日本語」の手引き(愛知県)

<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/288127.pdf>

やさしい日本語を作る際のポイント、実際の活用事例等がまとめられています。
練習問題にチャレンジできます。

② 外国人とのコミュニケーションブック(東京都台東区)

<https://www.city.taito.lg.jp/index/kurashi/kyodo/0158406520180301.files/book.pdf>

外国人とのコミュニケーションに重きを置いてやさしい日本語の使い方を紹介した冊子です。

2 ウェブサイト

① NHK「NEWS WEB EASY」

<https://www3.nhk.or.jp/news/easy/index.html>

わかりやすい日本語でニュースを読んだり、聞いたりすることができます。

② 「やさしい日本語」科研グループ

<http://www4414uj.sakura.ne.jp/yasashii-nihongo>

定住外国人に対する情報提供の新しいあり方について研究を行っている「やさしい日本語」研究グループのホームページ

3 便利ツール

① 日本語読解学習支援システム リーディング チュウ太

<http://language.tiu.ac.jp/>

日本語の文章の中の語彙や漢字の難易度が測れる無料のツール

日本語能力試験(日本語を母語としない人たちの日本語能力を測定し認定する試験)N1～N5のいずれに当てはまるかを自動で解析し、色分け表示してくれます。その他、辞書機能や翻訳機能もあります。

「やさしい日本語」では、N4までの語を使うとよいでしょう。

② ひらひらのひらがなめがね

<http://www.hiragana.jp/>

インターネット上で、日本語のサイトのURLを入力すると、すべてのページにふりがなをつけることができます。

発行 春日井市市民活動支援センター TEL0568-56-1943

参考文献 「やさしい日本語」の手引き(愛知県)